2023年3月期（4-3月）
決算説明資料

酒井重工業株式会社

証券コード　6358
URL https://www.sakainet.co.jp

2023年5月10日

SAKAI
MASTERS OF COMPACTION

決算短信（サマリー情報）

1．2023年３月期の連結業績（2022年４月１日～2023年３月31日）

（百万円未満切捨て）
（%表示は対前期増減率）

（１）連結経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%	%	%
2023年３月期	31,459	18.3	2,506	81.2	2,327	65.4	1,694	18.7	400.75	7.0	5.9	8.0
2022年３月期	26,599	23.0	1,383	97.3	1,407	113.6	1,427	－	336.87	6.3	3.9	5.2

（注）包括利益　2023年３月期　2,841百万円（52.8%）　2022年３月期　1,859百万円（362.2%）

（参考）持分法投資損益　2023年３月期　－百万円　2022年３月期　－百万円

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年３月期	40,804	25,295	61.8	5,957.01
2022年３月期	37,858	23,161	61.1	5,489.91

（参考）自己資本　2023年３月期　25,232百万円　2022年３月期　23,113百万円

（３）連結キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
百万円	百万円	百万円	百万円
1,893	△399	△2,242	7,416
2,359	△263	△1,227	7,926

2．配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向（連結）	純資産配当率（連結）
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年３月期	－	60.00	－	105.00	165.00	694	49.0	3.1
2023年３月期	－	80.00	－	120.00	200.00	847	49.9	3.5
2024年３月期（予想）	－	90.00	－	125.00	215.00		49.7	

3．2024年３月期の連結業績予想（2023年４月１日～2024年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	16,100	8.1	1,300	21.8	1,250	14.1	770	△5.9	182.12
通期	33,000	4.9	2,950	17.7	2,800	20.3	1,830	8.0	432.82

連結業績ハイライト

1．業績の概要

1）連結売上高：　31,459百万円（前年比 18.3%増）
好調な事業環境の下、サプライチェーン問題こなして海外販売を拡大

2）営業利益：　　2,506百万円（前年比 81.2%増）
海外事業を中心とした価格改定と合理化により収益構造改革が進展

3）国内販売：　　15,208百万円（前年比　6.4%増）
国土強靭化加速化対策を背景に堅調な需要環境が継続

4）北米販売：　　7,751百万円（前年比 53.8%増）
住宅着工件数が減少する中、インフラ投資法を背景とした道路建設投資が拡大

5）アジア販売：　　7,796百万円（前年比 20.1%増）
大市場のインドネシアとベトナムを中心に底堅い市場環境が継続

連結業績ハイライト

2．事業環境変化への対応

1）資本収益性向上に向けた取組み

(1) 中期経営方針の進捗
5ヵ年中期計画：　売上高 300億円、営業利益 31億円、ROE8.0%
第2年度実績　：　売上高 314億円、営業利益 25億円、ROE7.0%

(2) 東証プライム市場上場維持基準への対応
流通株式時価総額：　103億円達成（前々年6月対比63%増）により全基準適合

2）価格改定とコスト低減による収益構造改革

原価率改善：　74.0%（前年比1.9%改善）
海外事業を中心に価格改定と輸送コスト低減が進み、収益構造改革が進展

3）製品供給力強化

(1) サプライチェーンの強靭化（調達先の修正とデュアルソース化）
(2) グローバル事業活動の修正（国内工場の生産能力拡大、中国工場の部品事業拡大）

4）需要変化対応

棚卸資産回転数：　3.33回転（前年比0.36回転減少）
増産と部材欠品問題低減の為、在庫水準を31.2%積上げ

連結業績ハイライト

３．中長期成長戦略

１）アジア市場深耕　インドネシア拠点を中核とした市場開拓（前年比売上高20.1%増）

２）海外事業領域拡大　道路維持機械の海外市場展開（インドネシアでの現地生産化）

３）北米市場開拓　ニッチマーケティングによるシェア拡大（前年比売上高53.8%増）

４）次世代事業開発　緊急ブレーキの海外展開、転圧管理システムの市場づくり、自律走行式ローラの現場試験展開、ＥＶローラの研究開発

４．事業環境見通し

１）国内

総額15兆円の防災・減災、国土強靭化の為の5カ年加速化対策を背景に堅調。

２）海外

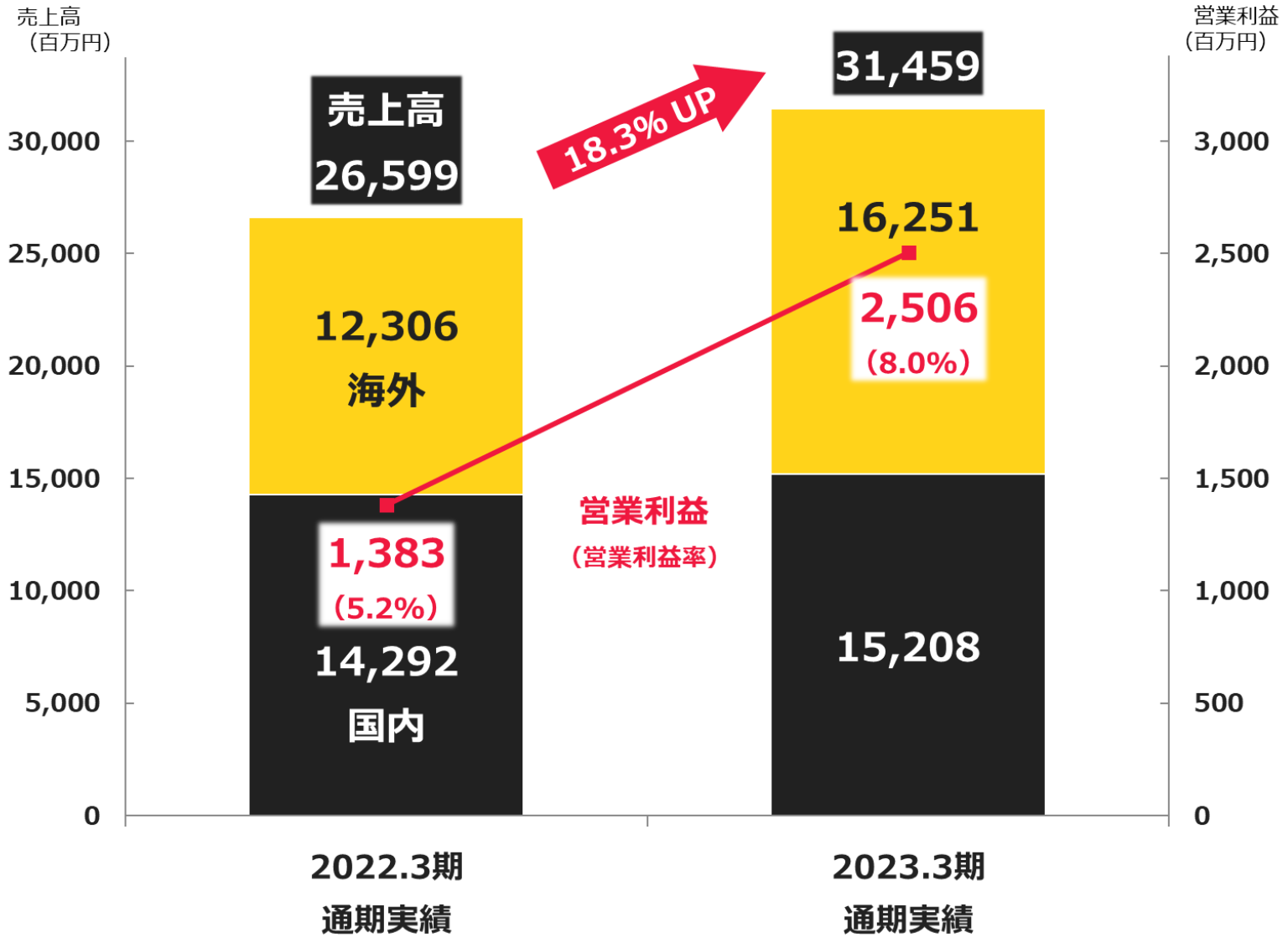
米国では、総額1兆2千億ドルのインフラ投資計画、ASEANや新興国でもインフラ投資や鉱山開発の活発化など、世界の建設機械需要は激動する世界情勢の中で一進一退を繰り返しつつも底堅く推移。

連結業績

（単位：百万円）

	2022.3期 通期実績	2023.3期 通期実績	前年比	
			増減額	増減率
売上高	26,599	31,459	4,860	18.3%
国内	14,292	15,208	916	6.4%
海外	12,306	16,251	3,944	32.0%
営業利益	1,383	2,506	1,122	81.2%
（営業利益率）	(5.2%)	(8.0%)		
経常利益	1,407	2,327	920	65.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,427	1,694	267	18.7%
（原価率）	(75.9%)	(74.0%)		

連結業績（グラフ）


売上高
（百万円）
営業利益
（百万円）
30,000
25,000
20,000
15,000
10,000
5,000
0
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0
売上高
26,599
12,306
海外
1,383
（5.2%）
14,292
国内
18.3% UP
31,459
16,251
2,506
（8.0%）
15,208
営業利益
（営業利益率）
2022.3期
通期実績
2023.3期
通期実績

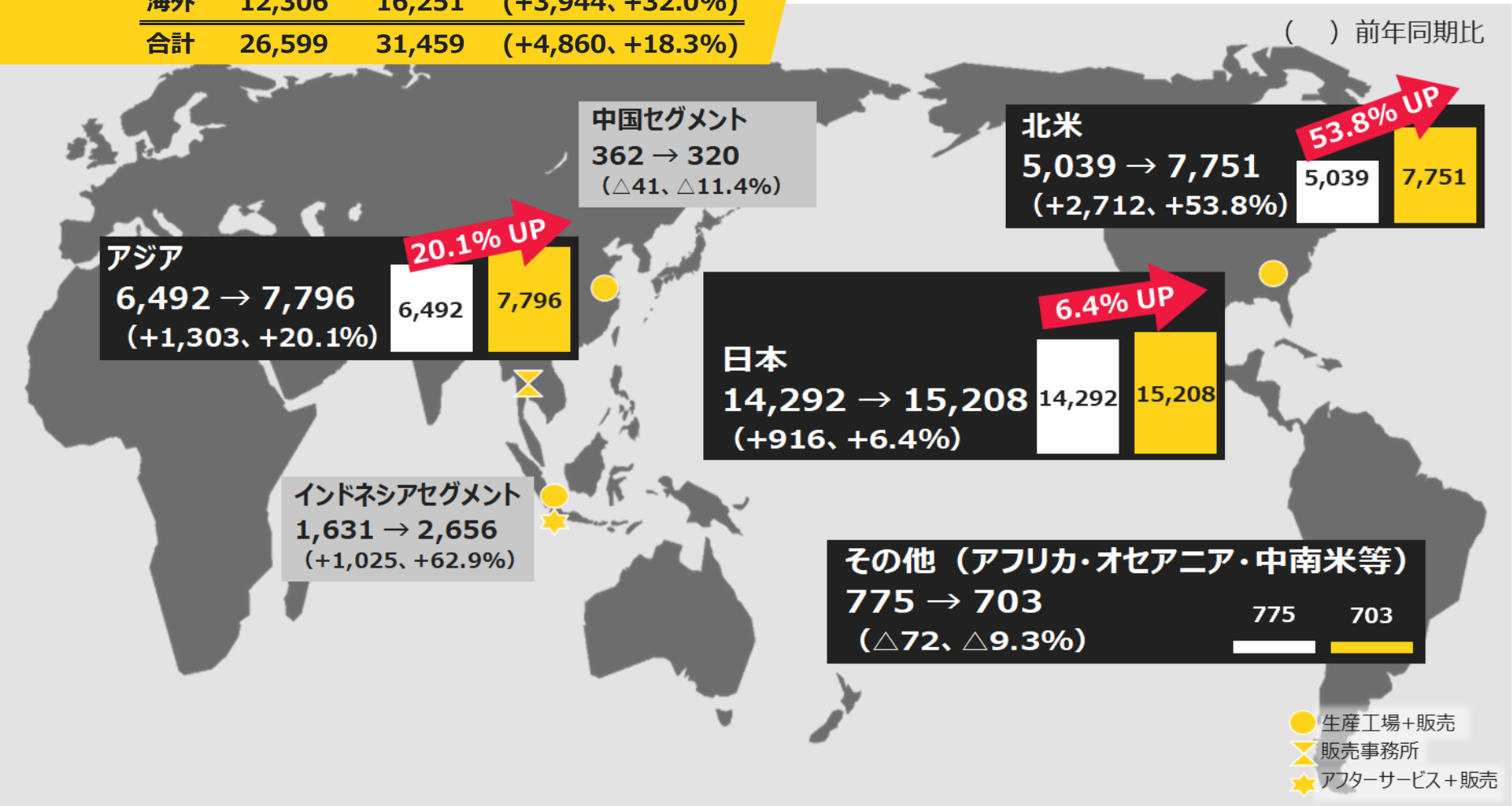
地域区分別売上高（顧客の所在地別に分類）

（単位：百万円）

	2022.3期 通期実績	2023.3期 通期実績	前年比	
			増減額	増減率
国　内	14,292	15,208	916	6.4%
海　外	12,306	16,251	3,944	32.0%
北米	5,039	7,751	2,712	53.8%
アジア	6,492	7,796	1,303	20.1%
その他	775	703	▲ 72	▲9.3%
合　計	26,599	31,459	4,860	18.3%

地域区分別売上高（地図）

（単位：百万円）	22.3期 通期	23.3期 通期	前年比
国内	14,292	15,208	(+916、+6.4%)
海外	12,306	16,251	(+3,944、+32.0%)
合計	26,599	31,459	(+4,860、+18.3%)



所在地別セグメント（当社の生産・販売拠点別に分類）

（単位：百万円）

日　本	2022.3期 通期実績	2023.3期 通期実績	前年比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	19,566	20,730	1,163	5.9%
内部売上高	1,801	3,826	2,025	112.4%
総売上高	21,367	24,556	3,188	14.9%
営業利益	884	836	▲ 47	▲5.4%

（単位：百万円）

北　米	2022.3期 通期実績	2023.3期 通期実績	前年比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	5,039	7,751	2,712	53.8%
内部売上高	45	50	4	9.5%
総売上高	5,085	7,802	2,716	53.4%
営業利益	328	688	360	109.8%

（単位：百万円）

インドネシア	2022.3期 通期実績	2023.3期 通期実績	前年比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	1,631	2,656	1,025	62.9%
内部売上高	3,527	4,355	827	23.5%
総売上高	5,158	7,012	1,853	35.9%
営業利益	274	836	561	204.4%

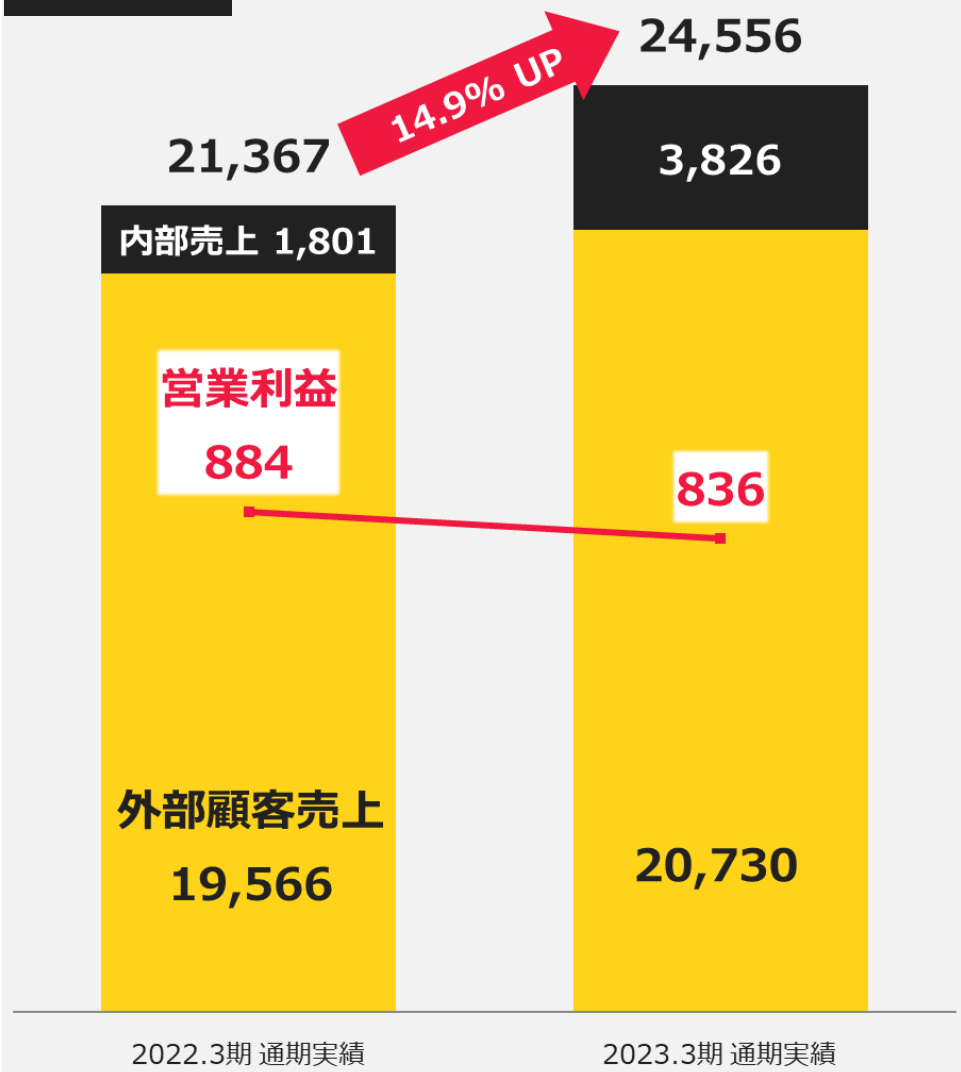
（単位：百万円）

中　国	2022.3期 通期実績	2023.3期 通期実績	前年比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	362	320	▲ 41	▲11.4%
内部売上高	611	1,268	657	107.5%
総売上高	973	1,589	615	63.3%
営業利益	▲ 79	133	213	－ %

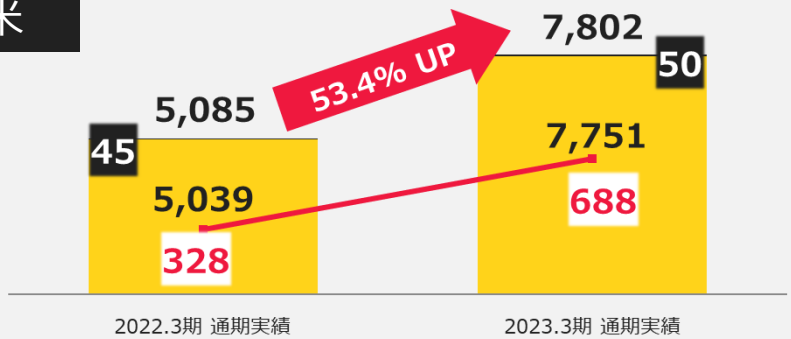
所在地別セグメント（グラフ）

（単位：百万円）

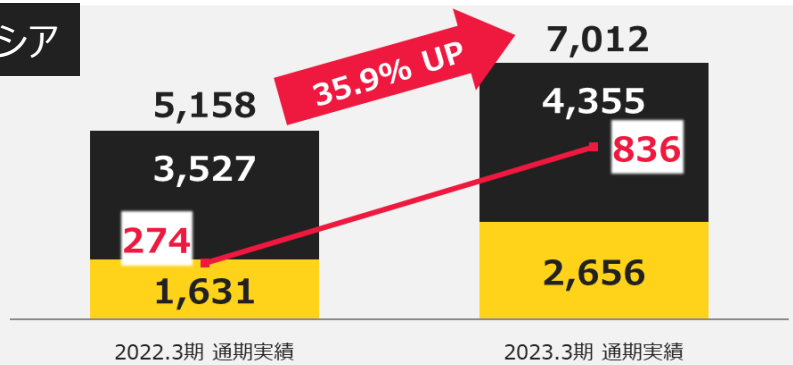
日 本



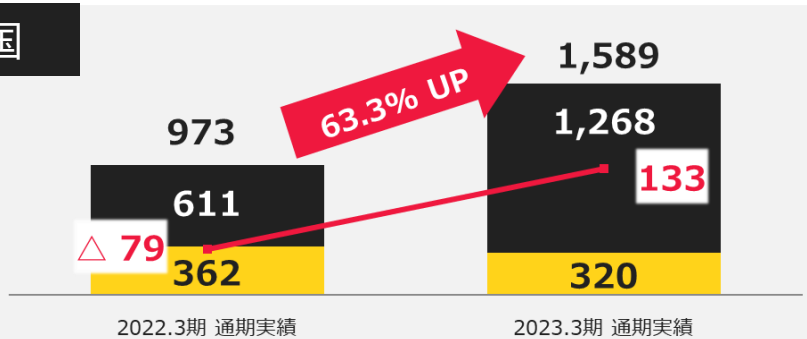
北 米



インドネシア



中 国



営業利益 増減要因

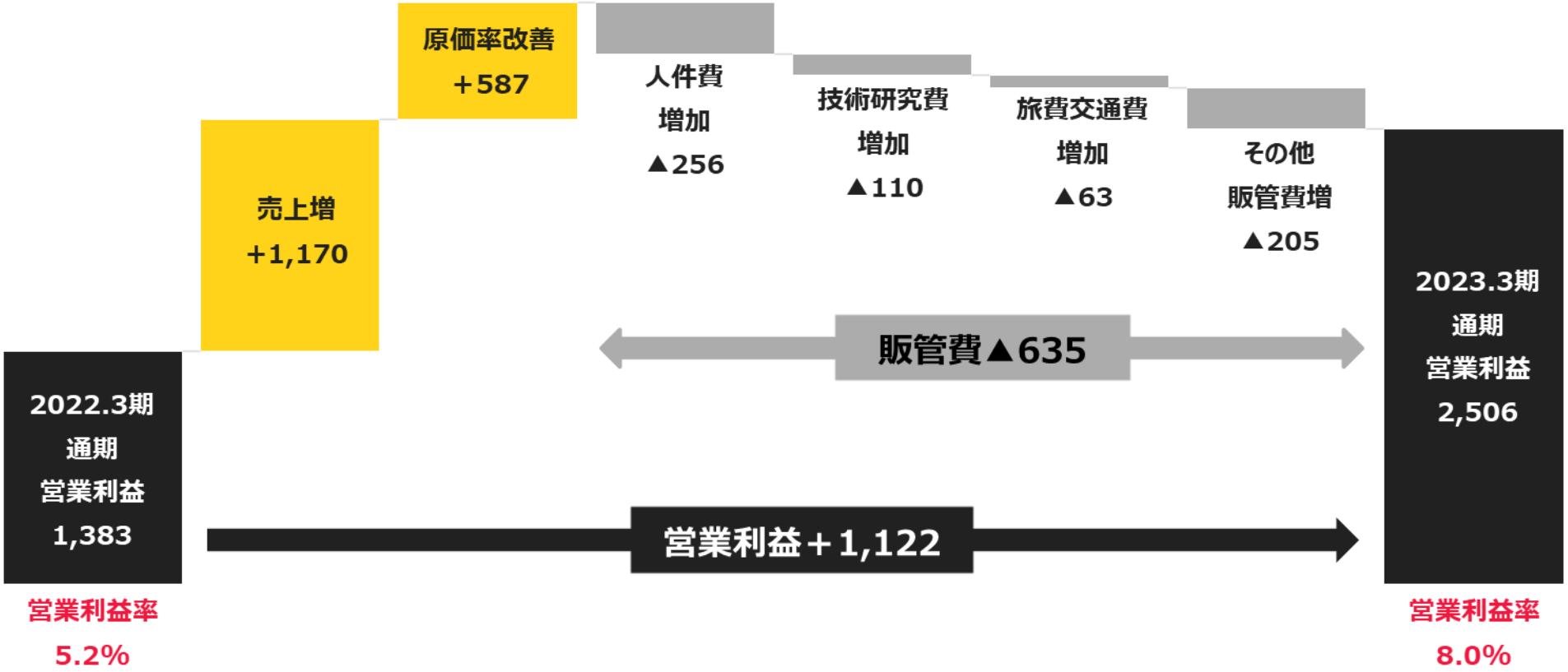
- 売上高を前年比4,860百万円増加させた結果、売上総利益は1,170百万円の増益
- 海外事業で販価改定と物流効率化の結果、原価率は1.87%改善し、売上総利益は587百万円の増益
- 行動制約状態からの事業活動再開に伴い、販管費は635百万円の増加
- 結果として営業利益は、前年比1,122百万円増の2,506百万円

（単位：百万円）

	2022.3期 通期実績	2023.3期 通期実績	増減	営業利益への 影響額	備　考
売上高	26,599	31,459	4,860	+1,170	4,860 x （1 - 75.9%）
（原価率）	75.9%	74.0%	▲1.87%	+587	31,459 x ▲1.87%
売上総利益	6,407	8,165	1,757		
販管費	5,023	5,659	635	▲ 635	人件費+256、技術研究費＋110 旅費交通費+63、その他販管費+205
営業利益	1,383	2,506		+1,122	

営業利益 増減要因（グラフ）

（単位：百万円）



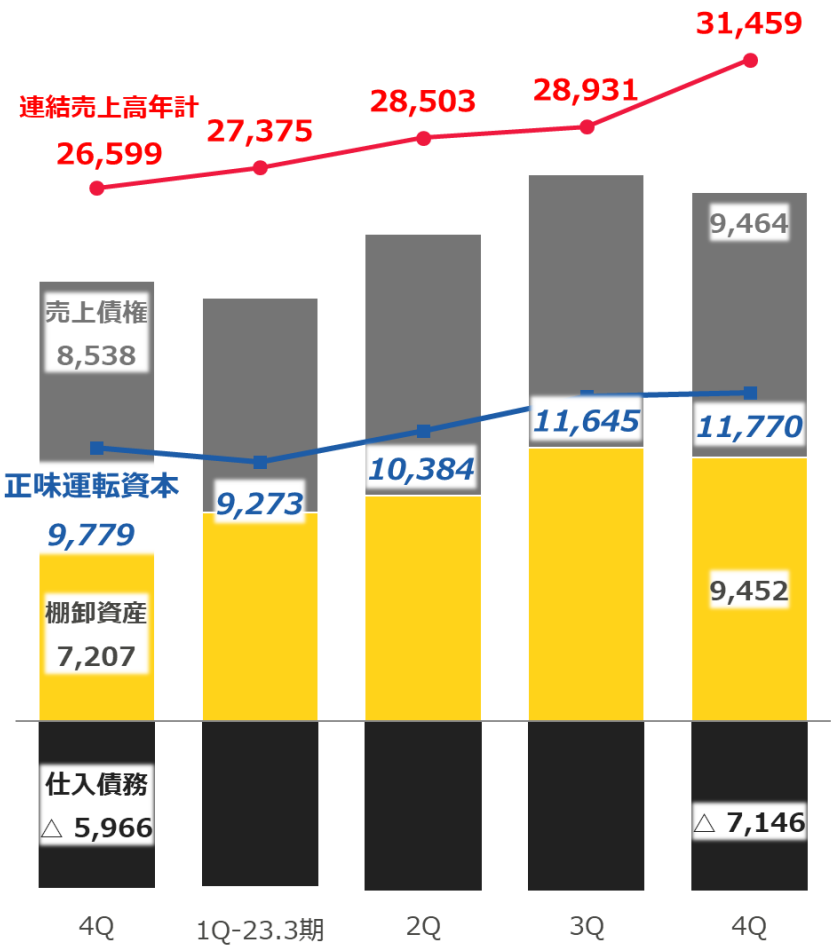
正味運転資本推移（売上債権＋棚卸資産－仕入債務）

- 営業上の投下運転資本は、前年比1,991百万円増の11,770百万円に増加
- 棚卸資産については、増産及び欠品対策で前年比2,245百万円増の9,452百万円に増加
- 正味運転資本/売上高比率は、前年と同等の37%近傍で安定しており、運転資本構造は妥当な範囲内

（単位：百万円）

	2022.3期 通期実績	2023.3期 通期実績	前年比 増減額	前年比 増減率
連結売上高（年計）	26,599	31,459	4,860	18.3%
売上債権	8,538	9,464	926	10.8%
棚卸資産	7,207	9,452	2,245	31.2%
仕入債務	▲5,966	▲7,146	▲1,180	19.8%
正味運転資本	9,779	11,770	1,991	20.4%
棚卸回転数	3.69回	3.33回	▲0.36回	
正味運転資本/売上高比率	36.8%	37.4%	0.6%	

（単位：百万円）



連結業績の予想

- 国内、北米、アジアで堅調な需要環境が予想される為、売上高を前年比4.9%増の33,000百万円に設定。

- 価格改定の更なる浸透と合理化、事業活動の活発化、人的資本投資とDX投資を計画する中で、営業利益を前年比17.7%増の2,950百万円に設定。

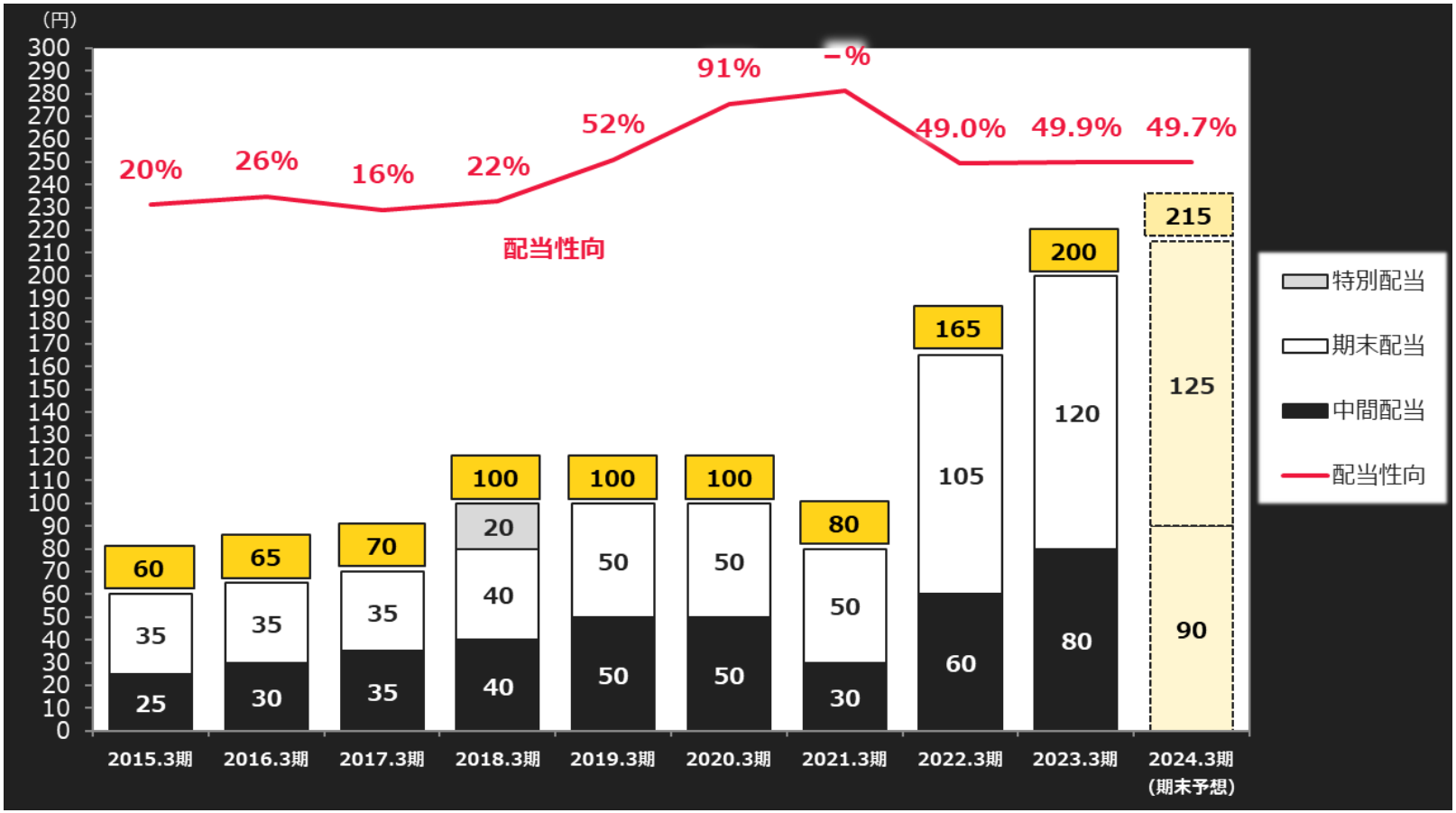
（単位：百万円）

	2022.3期 通期実績	2023.3期 通期実績	2024.3期 通期予想	前年比	
				増減額	増減率
売上高	26,599	31,459	33,000	1,540	4.9%
営業利益	1,383	2,506	2,950	443	17.7%
経常利益	1,407	2,327	2,800	472	20.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,427	1,694	1,830	135	8.0%
1株当たり純利益	336.87円	400.75円	432.82円	32.07円	8.0%

配当金の状況

・2021年6月2日の『中期的な当社経営方針』発表以降、ROE８％を目標として、次の配当方針を掲げております。

ROE３％を下回る場合：配当性向100％の還元
ROE３％～６％の場合：DOE３％の還元
ROE６％を超えた場合：配当性向50％の還元



注）2017年10月1日をもって10株を1株に株式併合を実施、併合前についても併合後に合わせて表示しております。

中期経営方針 KPI

- 売上高は中期計画2年度にして、計画を上回るペースで進捗中。
- エネルギー・部材価格の構造的上昇や物流費高騰による収益構造の悪化に対して営業利益率の改善ペースが遅れており、更なる価格改定及びコスト低減による収益構造改革推進中。

（単位：百万円）

	2022.3期 通期実績	2023.3期 通期実績	2024.3期 通期予想	2024.3期 目標	2026.3期 目標
売上高	26,599	31,459	33,000	26,500	30,000
営業利益	1,383	2,506	2,950	2,000	3,100
ROE（自己資本当期純利益率）	6.3%	7.0%	7.1%	5.5%	8.0%
自己株式取得	340	–	取得累積		
			340※1	500 ～ 2,000※2	

※1　2023年5月10日現在で実行済みの累積金額です。
※2　2026.3期までの累積目標額です。

ESGに関する取組み

カーボンニュートラルへの貢献に向けた取組み

建設施工現場のCO2削減（EV化の取組み）

CSPI-EXPO 建設・測量生産性向上展
(2023年5月24日～26日@幕張メッセ)に出展▼

EVローラ

デモ機完成。
実際の舗装現場での実践的試験を実施予定。
製品化に向けデータ収集実施。

電動ハンドガイドローラ

本田技研工業株式会社製着脱式可搬バッテリー搭載のコンセプトモデル製作。

事業活動を通じた社会的課題解決に向けた取組み

インドネシア工場での道路維持補修機械生産開始

2024年1月より、インドネシアにおいて、ロードカッタ（路面切削機）の生産を開始予定。
東南アジアの道路整備への貢献と当社事業領域拡大の両立。

ガバナンス強化に向けた取組み

新任社外取締役候補者の選任 (2023年6月29日付)

資本市場に精通した朝倉陽保氏を登用。投資家目線でのアドバイスと監視を企図。

経歴

1984 年	4月	三菱商事株式会社 入社
1999 年	5月	エイパックス・グロービス・パートナーズ パートナー
2001 年	2月	カーライル・グループ マネージング・ディレクター
2009 年	7月	株式会社産業革新機構 専務取締役（COO）
2016 年	3月	株式会社丸の内キャピタル 代表取締役社長（CEO 兼 CIO）
2022 年	11 月	HA マネジメント合同会社 代表社員（現任）

選任理由

同氏は、プライベート・エクイティ・ファンドにおける長年の実績から、資本市場及び企業価値向上に関する幅広い知見を有しており、当社の監査等委員である社外取締役として適任であると考えられる為、取締役候補者としております。

プライム市場上場維持基準の適合状況

- 当社は移行基準日(2021年6月30日)において、プライム市場の上場維持基準のうち、「流通株式時価総額」について基準を充たしておりませんでしたが、2023年3月末時点において、全ての基準に適合致しました。

2023年4月21日 「上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況について」にて適時開示済。
https://www.sakainet.co.jp/news/item/20230421PrimePlanningdocument%20.pdf

		株主数（人）	流通株式数（単位）	流通株式時価総額（億円）	流通株式比率（%）	１日平均売買代金（億円）
当社の適合状況及びその推移	2021年６月末時点（移行基準日）	2,924	28,147	63	64.8	0.3
	2023年３月末時点（※１,２）	4,081	27,436	103	62.4	0.4
上場維持基準		800	20,000	100	35.0	0.2
2023年3月31日時点の適合状況		適合	適合	適合	適合	適合

※１ 当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※２ １日平均売買代金の基準日は 2022 年 12 月 31 日です。

SAKAI

MASTERS OF COMPACTION

お問い合わせ

酒井重工業株式会社

ＩＲ室　吉川　孝郎

メール　sakai.ir@sakainet.co.jp

ＴＥＬ　03-3434-3401

ＦＡＸ　03-3436-6513

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると

判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。